

## 1 出資法人等の概要

団体名	一般財団法人豊中市医療保健センター		
所在地	豊中市上野坂2丁目6番1号	所管部局・課	健康医療部 保健安全課
設立年月日	昭和49年3月27日	代表者	理事長 野村 晋
資本金等	10,000,000円	うち市出資額(率)	5,000,000円(50.0%)
設立目的	豊中市医師会、豊中市歯科医師会、豊中市薬剤師会及び豊中市の連携に基づき、豊中市の地域医療体制を確立し、もって地域住民の健康の維持及び福祉の充実を図り、公益の増進に寄与することを目的とする。		

## 2 役員・職員関係

各年4月1日現在

		R3			R4			R5		
		市職員	市OB		市職員	市OB		市職員	市OB	
役員	常勤	1	0	1	1	0	1	0	0	0
	非常勤	11	4	0	11	5	0	10	3	0
職員	常勤	9	0	0	9	0	0	8	0	0
	非常勤	81	0	0	83	0	1	79	0	1
役員の平均年間報酬 (R4年度、千円) ※常勤のみ		*			職員の平均年間給与 (R4年度、千円)・平均年齢 ※常勤のみ			7,318千円・48.9歳		

## 3 財務関係

		金額(千円)		
		R2	R3	R4
損益計算書	総収入	681,331	487,373	562,485
	(うち市受入金)	560,873	354,430	485,036
	総費用	493,361	455,193	428,289
	経常損益	186,047	45,004	6,536
	当期損益	187,970	32,180	134,196

		金額(千円)		
		R2	R3	R4
貸借対照表	資産の部合計	642,908	701,324	800,580
	負債の部合計	412,744	438,981	404,040
	(うち有利子負債)	0	0	0
	純資産	230,164	262,343	396,540
	利益剰余金	227,164	259,343	393,540

#### 4 市の財政的関与の状況

(単位：千円)

		R2	R3	R4	主な内容、算出根拠等
フロー	補助金	—	—	—	
	事業費	—	—	—	
	運営費	—	—	—	
	委託料	274,589	93,221	12,443	二重読影会事業他
	指定管理委託料	—	—	—	
	その他	286,284	261,209	472,703	負担金（改修工事費含む）
計		560,873	354,430	485,146	
ストック	貸付金残高	250,000	250,000	250,000	
	債務保証残高	0	0	0	
	損失補償残高	0	0	0	
	出資金				
	その他	5,000	5,000	5,000	出捐金 5,000 千円のうち、1,500 千円が基本財産
計		251,500	251,500	251,500	

#### 5 経営の状況

##### (1) 出資法人等の主な事業

事業名	事業内容	活動指標	R2	R3	R4
休日等急病診療事業	休日等における豊中市内の初期救急医療機関として、内科・小児科・歯科の診療を行う。	受診者数	1,819 人	2,309 人	2,550 人
障害者歯科診療事業	心身に障害があり、一般の歯科医院での治療が困難な患者を対象に歯科診療を行う。	受診者数	1,652 人	1,665 人	1,610 人
在宅ねたきり者等訪問歯科診療事業	在宅でねたきりの状態にあり、歯科医院への通院が困難な患者を対象に、居宅に訪問して歯科診療を行う。	受診者数	203 人	195 人	206 人
福祉・保健施設訪問歯科診療事業	豊中市内の福祉・保健施設に入所しながら歯科診療を必要とする患者を対象に、訪問歯科診療を行う。	受診者数	1,113 人	1,052 人	951 人
障害者（児）健診等事業	豊中市内の障害福祉サービス事業所の利用者を対象に、事業所単位で健康診査等を実施する。	受診者数等	—	—	105 人

##### (2) 財務指標

指標	視点	内容	R2	R3	R4
市受入金比率 市受入金／経常収益×100	自立性	市への財政的依存度を表わします。一般的に数値が低いほど、財政的に自立性が高いといえます。	82.9%	73.6%	131.6%
人件費比率（％） 人件費／経常費用×100	効率性	数値が低いほど財務の弾力性が高いといえます。総支出における相談業務等のマンパワーが業務の中心となる団体については高くなる傾向にあります。	36.3%	39.4%	45.0%
管理費比率（％） 管理費／経常費用×100	効率性	コスト体質を表すもので、一般的に数値が低いほど効率が良いとされます。	23.4%	26.7%	32.0%
正味財産比率（％） 正味財産合計／（負債＋正味財産合計）×100	安全性	負債及び正味財産合計に対する正味財産合計の割合。自己資本の比率が高いほど資本構成が良く、経営の安全性が高いといえます。	35.8%	37.4%	49.5%
固定比率（％） 固定資産／正味財産合計×100	安全性	正味財産合計に対する固定資産の割合。固定資産を返済不要な正味財産合計でまかなわれているかを表わします。100%未満であれば安全性が高いといえます。長期的な経営の安全性を示しています。	144.2%	198.0%	118.7%
流動比率（％） 流動資産／流動負債×100	安全性	1年以内に返済を要する負債に対する1年以内に資金化できる資産の割合。数値が高いほど支払い能力が高いといえます。100%を下回る場合は注意が必要です。	544.2%	234.0%	1340.7%

(3) その他

ア 給与体系

区分	<input type="checkbox"/> 独自体系 <input checked="" type="checkbox"/> 市の体系を準用 <input type="checkbox"/> その他 ( )
見直し予定	<input type="checkbox"/> 予定あり ( 年度予定) <input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 済み (●年●月)

イ 情報公開

公開ツール	<input checked="" type="checkbox"/> ホームページ (URL : <a href="https://tmhc.or.jp">https://tmhc.or.jp</a> ) <input type="checkbox"/> 広報紙 <input checked="" type="checkbox"/> 事務所備え付け <input type="checkbox"/> その他 ( )
公開内容	<input checked="" type="checkbox"/> 定款 <input type="checkbox"/> 役員名簿 <input checked="" type="checkbox"/> 事業計画 <input checked="" type="checkbox"/> 事業報告 <input type="checkbox"/> 経営計画 <input checked="" type="checkbox"/> 財務諸表

ウ 指定管理者の状況

施設名	指定管理期間	備考

6 経営上の課題

- 地域医療におけるセーフティネットの役割を担う体制の維持に必要な、安定した財源の維持
- 組織の自律的なマネジメントを維持するための次世代を担う人材の確保
- 実施事業の改廃及び新規事業の開拓など、新たな収益機会の確保

7 経営改革の取り組み (令和4年度)

項目	取り組み内容	今後の課題・方向性
経営改善への取り組み	<p>各種業務における作業等のデジタル化、ICT化の取り組みの一環として、勤怠管理システムを導入し、法改正への対応や給与計算等他システムとの連携による業務の効率化や事務所内及び会議室に無線LANを導入しました。</p> <p>また、診療所事業においては、医科のレセプトコンピューターを導入し(歯科は既に導入済)、窓口業務や診療報酬請求業務を迅速かつ円滑に行い、患者サービスの向上に努めました。</p> <p>旧豊中看護専門学校の跡地活用については、別館を、「地域包括ケアシステム・豊中モデル」の構築に貢献しうる人材確保の一助となるべく、当該施設において介護福祉士養成施設を運営する社会福祉法人に無償譲渡することを決定し、必要な手続を行いました。本館部分については、一部を豊中市が設置する一時保育事業等施設への無償貸付、その他の部分を、診療所施</p>	<p>引き続き、初期救急医療機関等セーフティネットとしての当法人の役割を果たすべく、受診者等の利便性の向上を図るための、更なる施設や設備の充実に取り組みます。</p> <p>勤怠管理システムやレセプトコンピューターの導入により、業務のデジタル化を推し進めましたが、作業担当者の習熟度に違いが出ており、研修の実施等により、習熟度を向上させる必要があります。</p> <p>また、令和5年度から事業を継承した大阪国際空港メディカルクリニックの事業に係る採算性の向上を図るべく、現状分析による課題整理と具体的な方策を検討する検討部会を設置し、実施プランを策定したうえで、計画的に取り組みます。</p>

	<p>設とするために必要な改修工事を行うための準備を行い、施設の効率的効果的な活用に努めました。</p>	
<p>事業・業務の見直し</p>	<p>事業所単位の集団での障害者（児）向けの健診等を令和4年7月から開始し、身体状況により、医療機関での受診が困難な人の健康診断受診の機会の拡充を図りました。</p> <p>また、豊中市より「豊中市健康づくり推進委員会」事務局業務を引き継ぎ、当法人の健康教育センター事業との連携も含め、同会の活動を支え、事業の充実に取り組みました。</p> <p>さらに、大阪国際空港内に診療所を構える（一財）大阪国際空港メディカルセンターの事業を継承することとし、専門家の助言を得ながら吸収合併の手続き及び作業を推し進めました。大阪国際空港が豊中市にとっても重要な地域の社会資源であることを踏まえ、ここで働く従業員、地域の住民や空港の利用者の健康の維持増進に資するため、既存の事業と相俟って更なる地域医療の発展に寄与することをめざします。</p> <p>新たに取り組む事業のみならず、既存事業の更なる充実をめざすうえでの必要な人材の育成については、既に策定した「人材育成基本方針」の見直しを行い、引き続き同方針の内容に沿って人材育成を行っていくことを確認しました。</p>	<p>既存の事業のほか、新たに開始した事業についても、より安定的効果的な実施内容となるよう、ニーズの把握や実施体制、手法に関して研究、検証を重ねていきます。</p> <p>これらの事項に取り組む新たな人材の確保に努めます。</p>
<p>収益の確保</p>	<p>当法人が実施する主な事業のうち、休日等急病診療事業においては、コロナ禍における受診控え等で、減少傾向が続いていましたが、抗原検査（定性）の実施等必要に応じ体制整備等をしたことや、補助金等の活用により、効率的な運営に努め、前年度に比べ、患者数、事業収益ともわずかながら増加しました。</p> <p>また、新たに障害者（児）健診事業を開始したほか、大阪国際空港での診療事業の継承を決定したことで、これまで以上に、地域住民等の健康の維持増進に寄与するとともに、健全な運営に努めます。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが5類に移行しましたが、以後の休日等急病診療事業における診療体制や休止していた検査の実施など三師会に相談、協力を得ながら、引き続き効率的かつ安全な運営に努めてまいります。</p> <p>令和4年度から開始した障害者（児）健診事業の安定的な運営、対象者の利用のしやすさに資するような実施体制の確立、令和5年度から事業を引き継ぐ大阪国際空港での診療事業の経営状況の改善に取り組めます。</p>

8 出資法人等の自己評価

評価の視点	評価	今後の取り組み方針
<p>必要性 ・実施事業は、社会状況、環境変化や市民ニーズに適合しているか</p>	<p>診療所の各事業は、豊中市域における休日の初期救急医療機関として、また、一般の歯科医院での治療や通院が困難な患者のセーフティネットとしてより充実が求められる状況となっています。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染症に対応したノウハウの蓄積を活用し、三師会との協力、連携による新興感染症への対応、災害時の医療救護活動への協力等、行政からの要請にも迅速かつ適切に応じる必要からより重要性が増すと考えられます。</p>	<p>診療所の各事業においては、今後も、患者数の動向に応じた適切な診療体制の確保等、効果的に医療を提供します。</p> <p>また、当法人の設立趣旨に則り、市民ニーズに合致した事業の企画調整にも取り組みます。</p>
<p>効率性 ・人的・物的な経営資源は有効に活用しているか ・組織体制、人事給与水準は適正か</p>	<p>業務内容の精査を行い、適切な職員配置に努め、効率的かつ効果的な事業運営に取り組んでおります。</p> <p>人事給与制度につきましては、平成27年度を最後に人事院勧告の実施を見送っておりましたが、経営環境を踏まえ、令和5年度からの改定を行うこととしました。物価上昇等に対応した給与水準に見直しを図られ、今後の職員の士気向上を促すものと考えます。</p>	<p>引き続き、管理経費の見直しに取り組み、経費の節減を図ってまいります。</p> <p>当法人の規模に応じた組織体制や人事制度の構築をめざし、新たに運営を開始した空港メディカルクリニックとの整合を図ることも含め、適正な人事給与水準について検討してまいります。</p>
<p>有効性 ・意図する成果に有効に結びついているか</p>	<p>設立の背景から、医師会、歯科医師会及び薬剤師会と有効に事業連携ができており、休日における初期救急医療機関としての役割はもとより、障害のある人、在宅でねたきり等の状態にある人の口腔の健康の維持及び向上に資する役割を果たしています。</p> <p>三師会、市との連携により災害時における医療救護活動の拠点となることや、新興感染症発生時における発熱外来等の機能を担うことで、地域のセーフティネットとしての役割を担うことが想定され、ますます重要となっています。</p>	<p>三師会、市との連携を一層強化し、地域医療の拠点の一つとして機能を高めてまいります。</p>
<p>総合評価</p>	<p>施設内に三師会の事務所があり、それぞれの意思決定の拠点となっていることから、行政と地域医療との連携に大きな役割を果たしています。事業実施につきましては、自己の施設、独自のノウハウ及びネットワークを活かし、安定的な体制を維持するとともに効率的な高いサービス水準を維持しています。</p>	<p>集中豪雨等による自然災害が頻発し、また、大規模災害や新たな感染症が発生することも想定される状況にあって、地域医療の確立が支える医療分野におけるセーフティネット機能に対する市民の期待は、今後も増大することが見込まれます。</p> <p>一方で人件費や物価の高騰、オンライン資格確認への対応、医療機関を狙ったサイバー攻撃などさまざまな外的要因に対応する必要もあり、経営基盤の一層の安定が必要となります。このため、これらの課題に対処できるよう空港メディカルクリニックの事業統合のメリットを生かしつつ収益確保に努めるとともに人材の育成に取り組みます。</p>

9 市による評価

評価の視点	評価内容	課題・方向性
<p>団体の存在意義 (必要性)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・出資目的は薄れていないか</li> <li>・市の施策の方向性に適合しているか</li> </ul>	<p>診療所の各事業は、豊中市の地域医療体制を確立し、地域住民の健康を維持する目的を踏まえ、豊中市域における休日の初期救急医療機関として、また、一般の歯科医院での治療または通院が困難な患者のセーフティネットとして、市民の健康を守るものとして重要です。</p> <p>また、有事の際には、緊急の医療救護施設としての運用も期待され、また今年度より診療所部分の改修も予定されており、今後より一層、重要な医療機関として位置付けられるものとなっております。</p>	<p>休日診療業務については、コロナ禍の受診控えから徐々に受診者数が回復基調であり、5 類移行後を見据えた医療体制への対応が必要となっています。</p> <p>令和 3 年度には休日診療業務及び障害者歯科診療業務を自主事業とし、令和 4 年度は障害者（児）健診事業を開始、そして今年度から空港メディカルクリニックを事業統合するなど、自立性を高めつつ豊中市の地域医療に寄与する運営されていますので、より充実した事業運営を引き続き行っていただきたいと思ひます。</p>
<p>団体の活動領域 (効率性・有効性)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・出資法人等を活用するメリットはあるか</li> <li>・出資法人等にしかできないことか</li> </ul>	<p>施設内に三師会の事務局があることにより、地域住民の健康及び福祉の増進に寄与するための連携拠点となっています。</p> <p>また、医療と介護、福祉をつなぐ連携拠点としての機能も併せもって活動を行っており、自身のメリットを活かしながら事業を行っていると考えます。</p>	<p>今後も、三師会の事務局が施設内にあるメリットを活かし、地域住民の健康及び福祉の増進に寄与する連携拠点として、医療と介護福祉をつなぐ連携拠点として、活動を進めてもらいたいと思ひます。</p> <p>空港メディカルクリニックとの事業統合の効果を最大限に発揮できるよう、これまでの事業の安定的継続はもちろん、更なる新規事業の開拓に向けた検討も引き続き行っていただきたいと思ひます。</p>
<p>団体と市との関係性 (効率性・有効性)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の成果が市の施策の推進にどれだけ貢献しているか</li> <li>・市の関与は適切か</li> </ul>	<p>休日等急病診療、障害者（児）歯科診療事業、別館での「医療・介護・福祉の人材育成」事業など、地域住民の健康を守ることにより、第 4 次豊中市総合計画における「安全に安心して暮らせるまちづくり」の推進に寄与していると考えます。</p>	<p>引き続き、第 4 次豊中市総合計画における「安全に安心して暮らせるまちづくり」に寄与できるように、休日等急病診療、障害者（児）歯科診療事業、障害者（児）健診事業に加え、空港メディカルクリニックの更なる充実を図ってもらいたいと思ひます。</p>
<p>総合評価</p>	<p>豊中市と三師会の出資による法人として、各々と協力しながら地域住民の健康と福祉を増進するために重要な事業を行っていることについて評価します。</p>	<p>豊中市と三師会の出資による法人としてのメリットを活かし、今後も相互に連携を図りながら現行の事業の効率化に加え、他に何か自分たちにはできないのかを考えて自主事業の開拓を進めてもらいたいと思ひます。</p> <p>給与水準の見直しにより支出が増大することは避けられず、財政的自立性を高めるための一層の努力が必要です。公益性が高い一方で収益性が高いとはいえない事業が多く、収入確保が課題ではありますが、空港メディカルクリニックとの事業統合によるスケールメリットを生かすなどして収入の確保に努めてもらいたいと思ひます。</p>